

猫は数がかぞえられません！

fasahara

## 猫は数がかぞえられません！

---

アフリカ大陸の草原に、その猫たちは住んでいました。

おかあさん猫と3匹のこどもの猫の一家です。猫たちは人間のいない草原に住んでいたのも、人間を見たことも、人間に見られたこともありません。だから、猫たちに名前はありませんでした。そこで、おかあさん猫と、キイロとシマモヨウとチビと呼ぶことにします。

おかあさん猫は毎日、草原で狩りをして、エサを探し、エサを食べ、こどもに乳をあげていました。こどもたちはまだ小さくて、エサをとることも、食べることも、長く歩くこともできなかったからです。

おかあさん猫は、小さな動物を毎日捕まえていました。もし、自分より大きな動物を見つけたら、すばやく草むらに隠れて、自分が食べられないようにしていました。いちばん気をつけていたのは、こどもたちがいる巣を見つけられることです。もし、大きな動物に見つけれたら、こどもたちが食べられてしまうかもしれないからです。アフリカには、猫より大きな動物がたくさんいます。おかあさん猫はたった一匹で、毎日必死に子供たちを育てていました。

ある日、おかあさん猫がこどもたちがいる巣に帰ろうとして、もう少しで巣に着くとき、おかあさん猫はハイエナたちに見つかってしまいました。ハイエナたちはおかあさん猫とちがって、何頭も集まって、狩りをします。あたまもいいです。おかあさん猫がいるということは、近くにこどもの猫もいるに違いないと思ったでしょう。すぐにおそいかからないで、おかあさん猫を遠くから見張ることにしました。

おかあさん猫は急いで、巣と反対の方向へ逃げ出しました。ハイエナたちにこどもたちと、こどもたちのいる巣を見つけられなくするためです。ハイエナたちはお母さん猫を追いかけました。でも、小さいおかあさん猫は少し走ってから、うまく草むらに隠れることができました。ハイエナたちはおかあさん猫を探しましたが、暗くなる前にはあきらめて、帰って行きました。

おかあさん猫はハイエナが帰ったのを見て、暗くなりかけた草原をわざと遠回りして、巣に戻りました。でも、あたまのいいハイエナたちは明日もきっとやってくるでしょう。お母さん猫はこどもたちに乳をやると、明るくなる前に、こどもたちと新しい巣に引っ越すことに決めました。

草原の住む猫たちの巣は小さな穴です。穴から頭を出しても、草に隠れて、他の動物から見つからなければいいんです。草原には、巣に使える穴がいくつもあり、そのうちいくつかは前に巣に使ったこともあります。猫は夜でも目が見えます。暗いうちに、遠くの穴にこどもたちを運ぶ

ことに決めました。

眠いのをがまんして、おかあさん猫はこどもを一匹ずつ口に加え、遠くの穴に運んで行きました。ハイエナが考えつかないくらい遠い穴です。まず、一番大きいキイ口を運びました。一番生き残りそうな大きなこどもから運びます。

キイ口を新しい巣に置くと、お母さん猫は古い巣に戻り、今度はシマモヨウをくわえて、新しい巣に運びました。先に着いたキイ口はおとなしく待っていました。シマモヨウも新しい巣において、古い巣に戻ったのは明け方近くです。まわりを気を配りながら、チビを運びました。キイ口もシマモヨウもおとなしく待っていました。お母さん猫がチビを新しい巣に運び終わったときには、もう明るくなってなっていました。

もう安心ですね。ところが、お母さん猫はもう一度、古い巣に向かって歩きはじめました。

猫は数が数えられないのです。

たった3匹の自分のこどもの数をかぞえられなくて、もう一度、古い巣に向かったのです。

明るくなったころ、古い巣に着きました。もう、こどもはいません。そのときはじめて、おかあさん猫はじぶんのこどもを全部運び終えたことを知りました。

おかあさん猫は古い巣を出て、新しい巣に戻り始めました。でも、その時に、あのハイエナたちが現れました。

ハイエナたちはおかあさん猫に襲いかかりました。おかあさん猫は、大きなハイエナに勝つことはできませんが、小さくて、すばやいので、何匹かのハイエナに小さな傷を負わせることができました。そして、またすばやく、草むらに隠れました。

ハイエナたちは追いかけていませんでした。なぜなら、おかあさん猫と戦って、けがをするのいやだったからです。アフリカではちいさなけがでも、そのために病気になり、死んでしまうことがあるからです。

それよりも、昨日いたおかあさん猫がまたいたのだから、きっとこの近くにこどもの猫がいる巣があるにちがいないと、ハイエナたちは考えました。そこで、おかあさん猫を追いかけるのではなくて、バラバラにわかれて巣を探すことにしました。巣にいるこどもの猫を襲って、食べようと思ったのでしょう。こどもの猫なら、きっとかんたんにエサにすることができると思ったにちがいありません。

おかあさん猫は、ハイエナがもう自分におそってこないどころか、バラバラにどこかへ行ってしまったのを、草むらをじっと見ていました。それから、また遠回りをして、新しい巣に戻りました。

こどもは3匹そろっています。おかあさん猫はまたこどもたちに乳をやり、そして眠ってしまいました。こどもたちもお腹いっぱいになって、眠ってしまいました。みんな安心して眠りました。おかあさん、明日もがんばってくださいね。